

サークル活動完了報告書

サークル名	透析タイムス社	発表者	小滝ゆかり
		リーダー	小滝ゆかり
部署	人工透析室	サブリーダー	大石智香子
活動期間	開始;平成24年7月13日 終了;平成25年12月31日	メンバー	福原真理 岡本千秋 池田直子 森岡由希子 藤田佳恵 出雲和也 森田剛正 益田量久 高畠衣里
会合状況	会合回数 5回 1回あたり会合時間 30分		
所属長/推進メンバー	福原真理	所見欄	
レビュー担当者	㈱麻生 向野 早苗		

テーマ

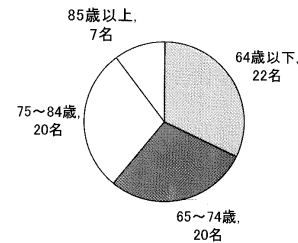
透析ライフの充実を目指して

テーマ選定理由

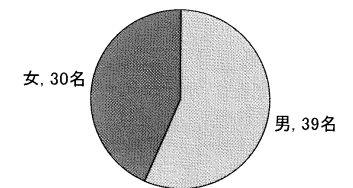
5年前より月2回の採血ごとに各受け持ちがコメントを記入し渡している。さらにこの1年間は臨床工学技士の視点からのコメントも付けている。現在このお便りをどのように生活の振り返りに活用しているでしょうか患者様が透析療法の関心を高めセルフケアにつながるような情報を発信していきたい。

現状把握

患者背景 全患者69名



男女比 全患者69名



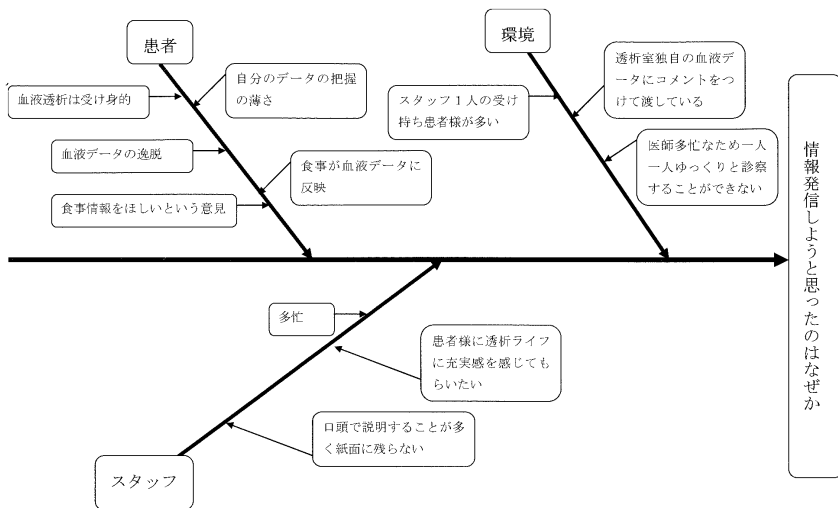
- ・65歳以上が全体の68%をしめている。
- ・女性より男性が若干多い。
- ・透析室独自の検査結果便りがあり、5年前より月2回の採血ごとに各受け持ちが血液データをもとに食事の適切な取り方や体重コントロールの状況等のコメントを記入し渡している。さらにこの1年間は臨床工学技士の視点からのコメントも付けている。

今現在、透析室は20年以上の長期維持透析患者様や高齢になってからの透析導入となった患者様、仕事をされている患者様と様々である。皆様と同じ情報が行き渡るツールが現在はない状態である。

目標設定

- ・患者様への定期的な情報提供を強化する。
- ・季節ごと(年4回)に発行を行う。

要因解析



対策立案

情報を提供するには		効果	実現性	持続性	経済性	評価
医師	1対1のDrの診察時間を設ける	◎	△	△	△	8
HD室スタッフ	受け持ち患者様に毎HD時、声をかける	◎	○	○	◎	16
	季節のレシピを折り込んだ新聞の発行	◎	◎	◎	◎	20
環境	透析中にビデオを流す	○	△	△	△	6
	患者様からの質問を受けるBOXを控え室に設置する	◎	◎	◎	◎	20

※◎5点 ○3点 △1点
評価点が18点以上を対策実施

対策実施

何を	いつ	どこで	誰が	どうする
質問や感想を受け付けるBOXの設置	7月～常時	透析患者様休憩室内	CSチーム	設置し定期的に回収
質問に対する解答	8/15～8/17 10/14～10/22 12/3～12/10	透析室	CSチーム	回収した質問に対する解答コメントを整理する
季節のレシピを中心に新聞の発行“透析タイムス”	夏8/29 秋10/24 冬12/14	透析室	CSチーム HDスタッフ	発行して全患者様に配布する

効果確認

発行前質問数 6件
8月 夏号62部発行→発行後質問数 2件
10月秋号67部発行→発行後質問数 0件
12月冬号未発行

発行後の患者様からの感想 5件 読みましたよ。
作ってみました。
またいろいろ教えてください。など

標準化

何を	いつ	どこで	誰が	どうする
質問や感想を受け付けるBOXの設置	常時	透析患者様休憩室内	HDスタッフ	定期的に回収
質問に対する回答	発行前	透析室	HDスタッフ	回収した質問に対する解答コメントを整理する
透析タイムスの発行	春号 夏号 秋号 冬号	透析室	HDスタッフ 11名を4グループに分け割り当て表を作成	発行して全患者様に配布する

まとめと今後の課題

まとめ

1. 質問ボックスの設置により普段にも聞けないことがあることがわかった。
2. 患者様は検査便りを自分の振り返りに活用され検査結果を心待ちにしている。それにもとづく今回の情報提供は有用であったとかがえる。
3. レシピを載せることで情報交換のツールになった。

今後の課題

透析スタッフ誰でも発行に携われるようにする。(誰でもパソコンで作れるようなテンプレート。)

看護師からの情報提供だけでなくその他の医療従事者(医師、臨床工学技士、栄養士、薬剤師)からの情報も取り入れさらに内容の充実した新聞にしていきたい。

患者様からの情報も取り入れた(おすすめレシピ等)新聞作り。

新規の透析導入患者様への情報ツールになるように、レシピだけの部分や質問回答部分等にまとめた冊子の作成。